

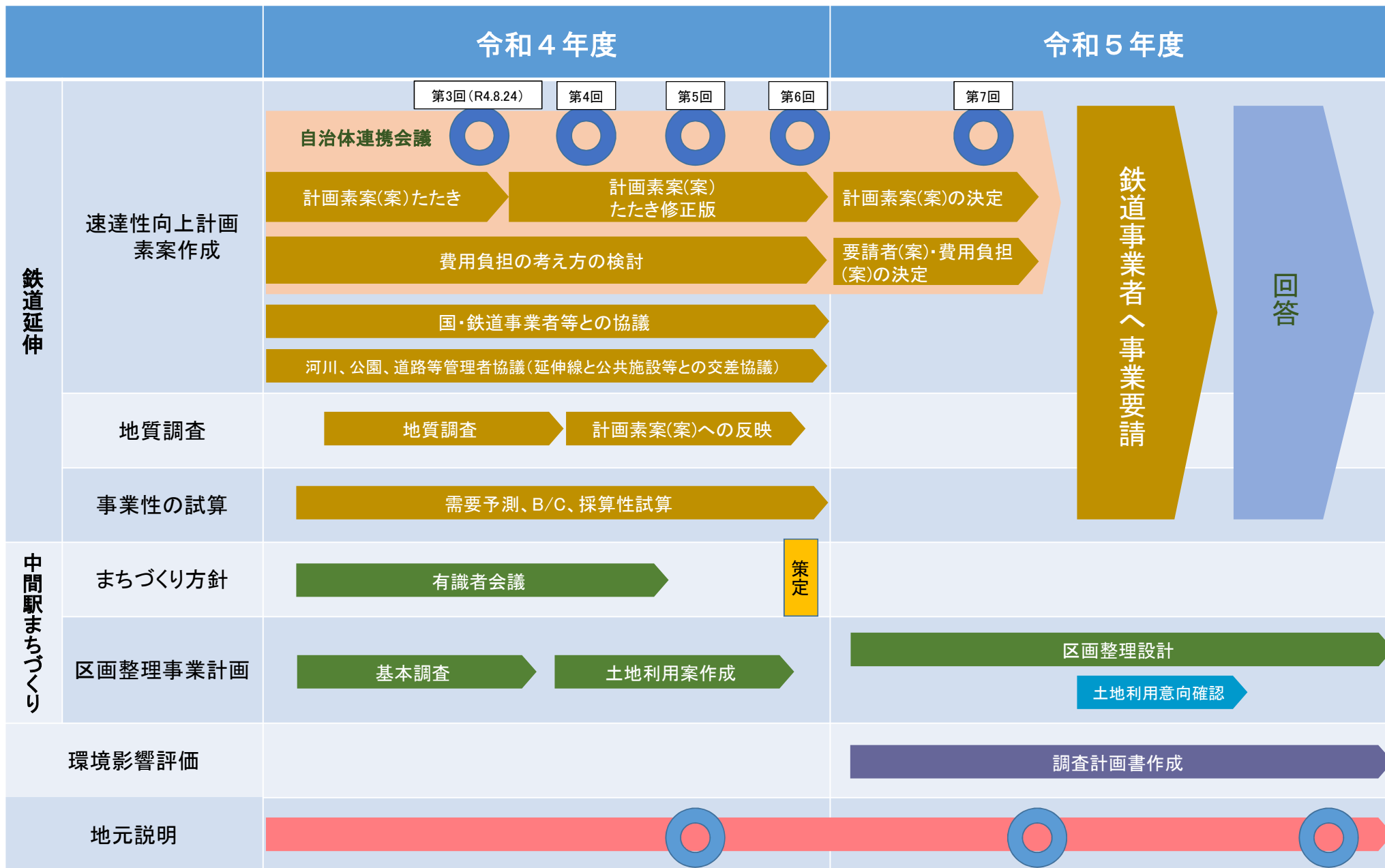
# 令和4年度 第2回 浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 次第

日 時: 令和4年11月25日(金)  
13:30～14:00

場 所: 本庁舎4階 政策会議室

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 議 事
  - (1) 地下鉄7号線延伸事業のスケジュール及び取組状況について
  - (2) 中間駅まちづくり方針について
  - (3) 浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン改定について
4. 閉 会

# 1. 地下鉄7号線延伸事業のスケジュール及び取組状況について



# 1. 地下鉄7号線延伸事業のスケジュール及び取組状況について

## 速達性向上計画素案に記載すべき主な項目

### ○速達性向上事業を実施する区域

起点: 埼玉高速鉄道線 浦和美園駅

終点: 東武野田線 岩槻駅付近

主要な経過地: 埼玉スタジアム2002付近、目白大学付近

### ○速達性向上事業の内容

路線延長 約7.2 km

計画輸送人員 事業性の試算において精査中

運行条件及び運賃 鉄道事業者、国等と協議中

### ○都市鉄道施設の整備に要する期間

鉄道事業者、国等と協議中

### ○都市鉄道施設の整備に要する費用の額

精査中

### ○速達性向上事業の効果

定性的な効果 ・東京圏の鉄道ネットワーク強化

・災害時等の代替路線機能の充実

定量的な効果 ・岩槻駅～永田町駅の所要時分

約66分→約52分(約14分短縮)など

### ○事業収支見積書・資金収支見積書

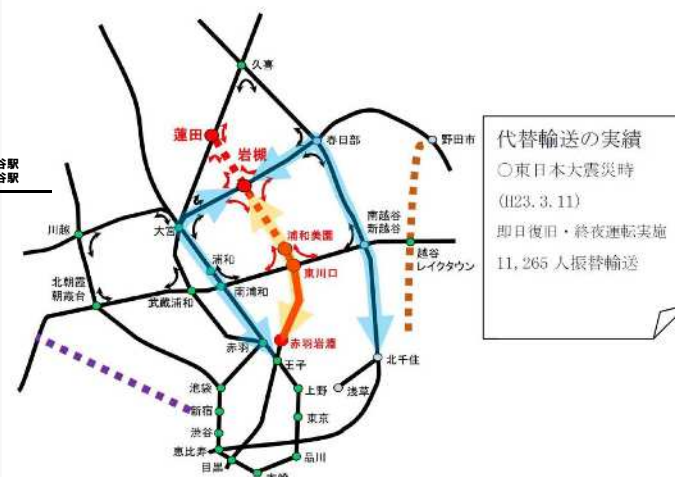
精査中

### ○速達性向上事業の開始のため工事を必要とする

鉄道線路に係る線路予測図

作成中

パンフレット等の既存資料を基に作成しており、具体的な記載内容については自治体連携会議、関係者協議等で決定していきます。



【災害時等の代替路線機能の充実のイメージ】



【定量的な効果のイメージ】

神奈川東部方面線  
(2023年3月開業予定)  
新横浜、海老名、湘南台方面

品川地下鉄  
(品川～白金高輪)  
鉄道事業許可 (R4.3)

【東京圏の鉄道ネットワーク強化のイメージ】

地下鉄7号線中間駅まちづくり方針（案）

令和4年11月

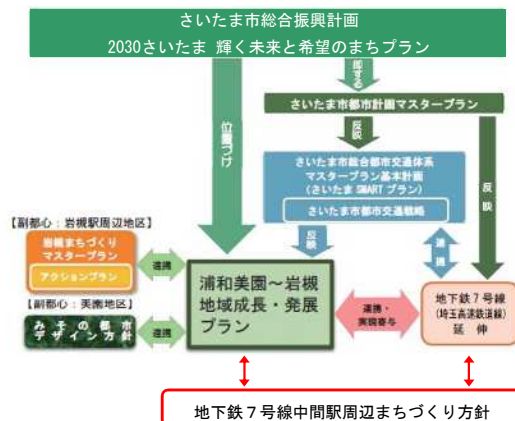
さいたま市  
都市戦略本部 未来都市推進部

## 2. 中間駅まちづくり方針について

### ≪ 地区の概況 ≫

#### ＜まちづくり方針について＞

地下鉄7号線延伸と一体的に検討を行っている中間駅周辺地区のまちづくりについて、関係する計画と整合を図りながら、「あらたなまちの在り方」を示すものとして、まちの将来像や基本テーマの設定に基づき、まちづくりの方針を定めるものです。

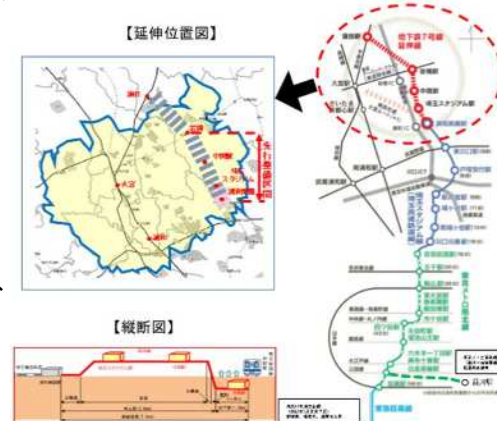


#### ＜中間駅周辺地区を取り巻く環境＞

##### ■地下鉄7号線延伸計画

地下鉄7号線は、平成28年の交通政策審議会において、「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」を実現する上で意義のあるプロジェクトとして「浦和美園から岩槻、蓮田までの区間の埼玉高速鉄道の延伸」が位置づけられました。

現在、この答申で示された区間のうち、浦和美園駅から岩槻駅までを先行整備区間と位置付け、延伸の取組を進めています。

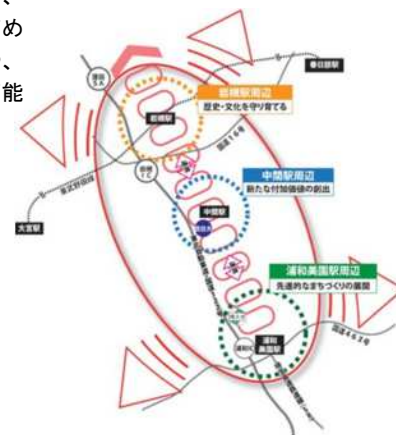


##### ■浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン

成長発展プランとは、浦和美園から岩槻までの、さいたま市東部地域の各地域が連携し、魅力を高めることで鉄道延伸事業の評価を向上させることや、コンパクトシティ+ネットワークにより、持続可能なまちづくりを目指すことを目的としたプランになっています。

##### ◎東部地域の役割

- ・本市の副都心として「まちの成長・発展」に取り組む続ける
- ・“人”や“企業”などから選ばれ続ける魅力あるまちを形成する
- ・東部地域を成長・発展させ、本市全体の価値を高める
- ・新たな拠点形成により、さらなる東部地域のポテンシャル向上を図る



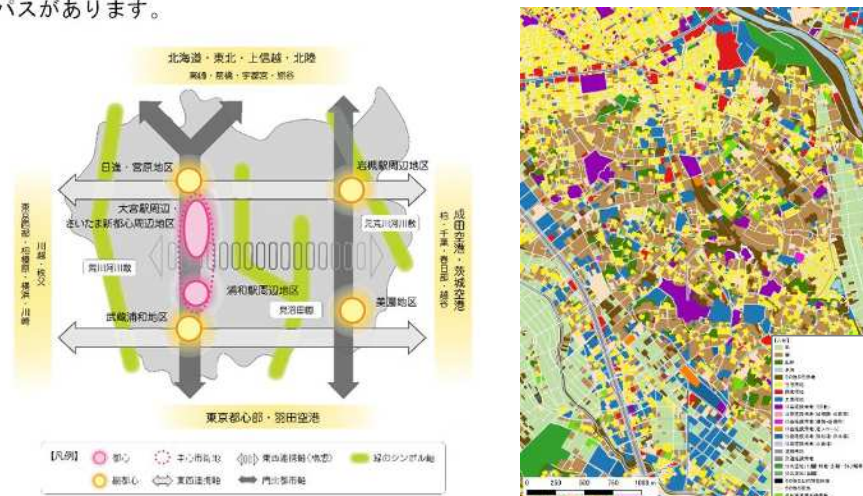
##### ■社会情勢の変化

- ・新型コロナ危機を踏まえた「ニューノーマル」の住まい方・働き方・まちづくりへの関心の高まり
- ・世界的なSDGsやゼロカーボン、環境への関心の高まり
- ・少子化の進展⇒子育て世代への支援、子育てしやすいまちづくりの必要性ライフ・スタイルの変化：生活の質の豊かさ（QOL）や、シェア事業等の普及 等

#### ＜中間駅周辺地区の概況＞

中間駅周辺地区は、さいたま市の東部地域となる浦和美園および岩槻の副都心間に位置し、緑地や農地が広がる市街化調整区域であり、周辺の見沼田圃と一体となった自然豊かな地域となっています。

土地利用では、畑と住宅地が大部分を占め、工場や社寺境内地も見られ、地区周辺の北側は住宅用地、南側は田が多く見られます。周辺立地施設では、目白大学さいたま岩槻キャンパスがあります。



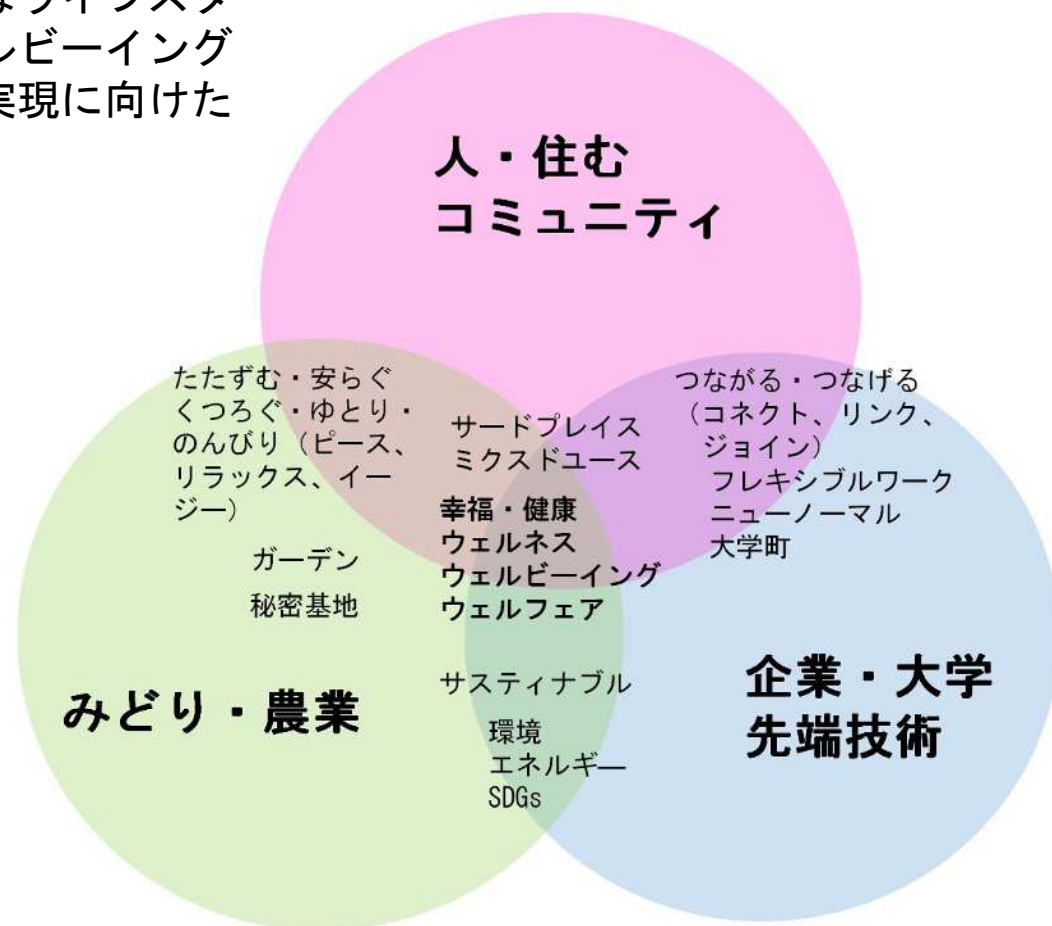


## 2. 中間駅まちづくり方針について

《地区の将来像イメージ》

中間駅周辺地区は、豊かな自然環境を活かし、鉄道沿線の浦和美園・岩槻地区と連携しながら、多様なライフスタイルを尊重し、人々がつながることで、ウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態）の実現に向けたまちの形成をはかります。

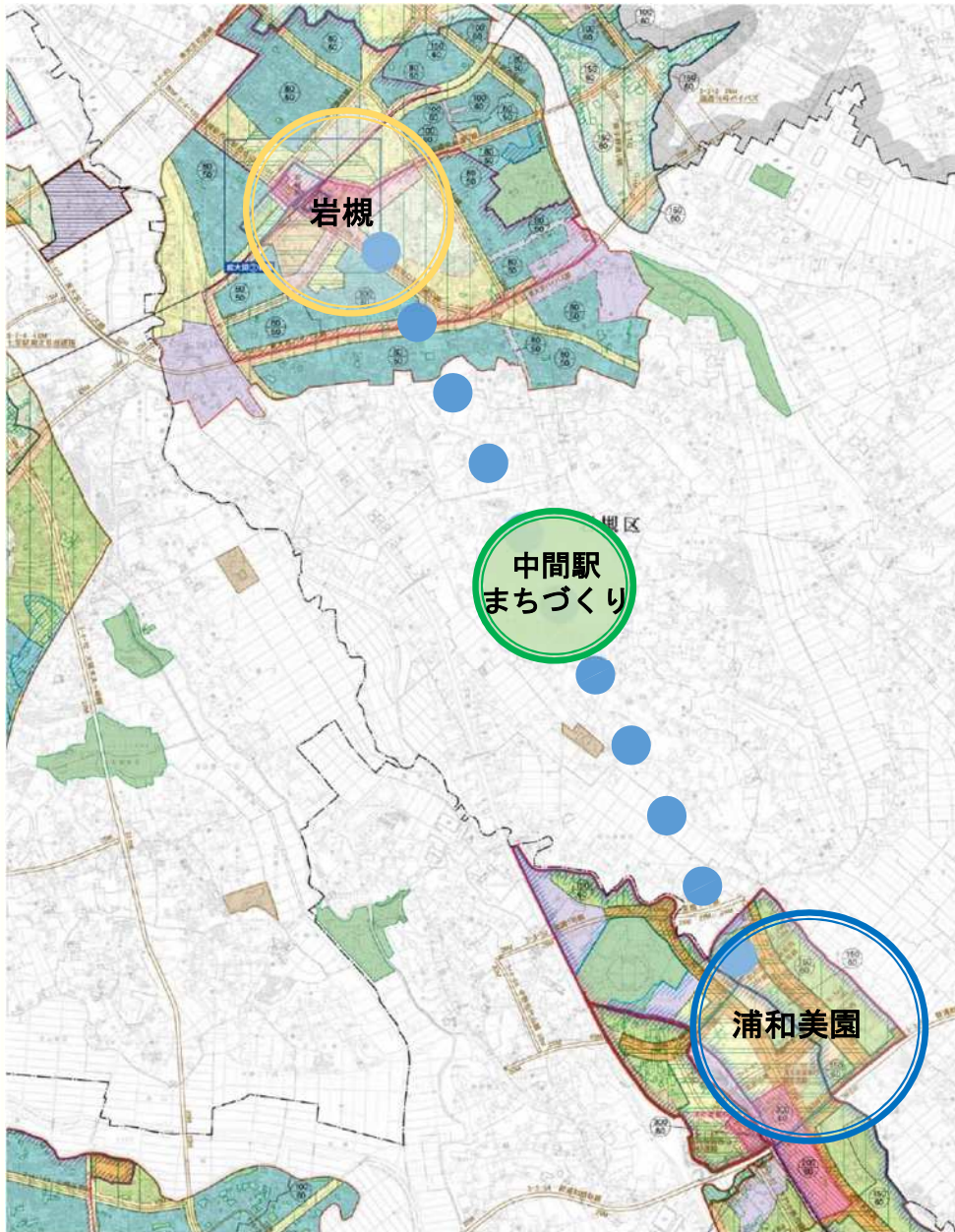
今後、「まちづくり方針」策定までに、イラスト等で表現していきます。



《まちづくりのキーワード》

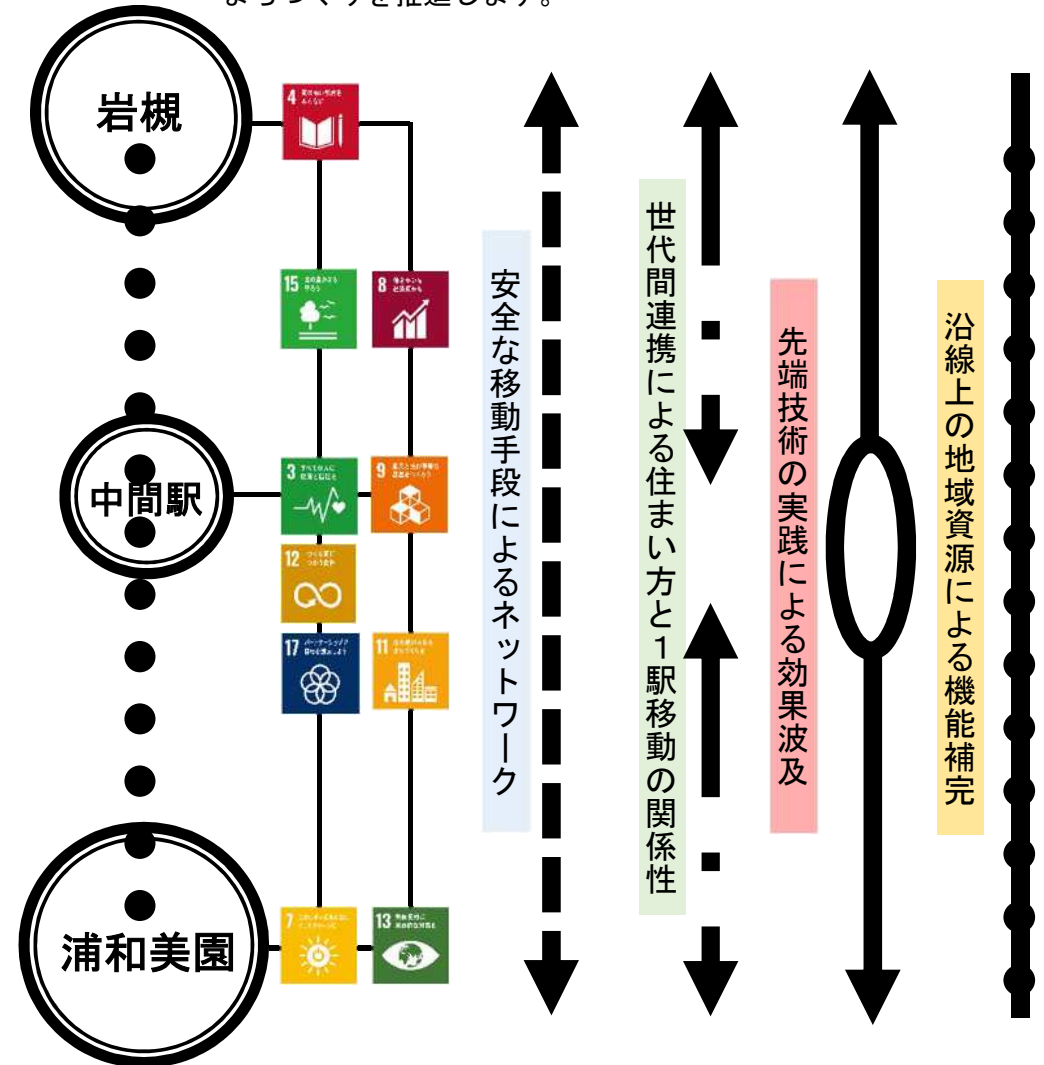
## 2. 中間駅まちづくり方針について

### 《沿線連携イメージ》



### ●沿線連携の持続可能な都市構造

中間駅周辺地区は、沿線で隣接する浦和美園地区、岩槻地区と多面的に役割を補完しながら、持続可能なまちづくりを推進します。





## 2. 中間駅まちづくり方針について

### 《まちづくりのテーマ》

#### テーマ1.

ニューノーマルに相応しい、多様性に対応した職住遊学を実現するまち

- ① 在宅ワークなどフレキシブルワークに対応したゆとりある住環境を創出します。
- ② 多様なライフスタイルに合わせたQOLの向上を目指します。

#### テーマ2.

楽しむオープンスペースにより、人々がつながるまち

- ① スマートな交通結節と居心地のよいオープンスペースによるウォーカブルを推進します。
- ② 公園などの緑豊かな自然を活かした滞在できる空間により、人々のつながりと地域活力を創造します。

#### テーマ3.

自然と先端技術が融合した持続可能なまち

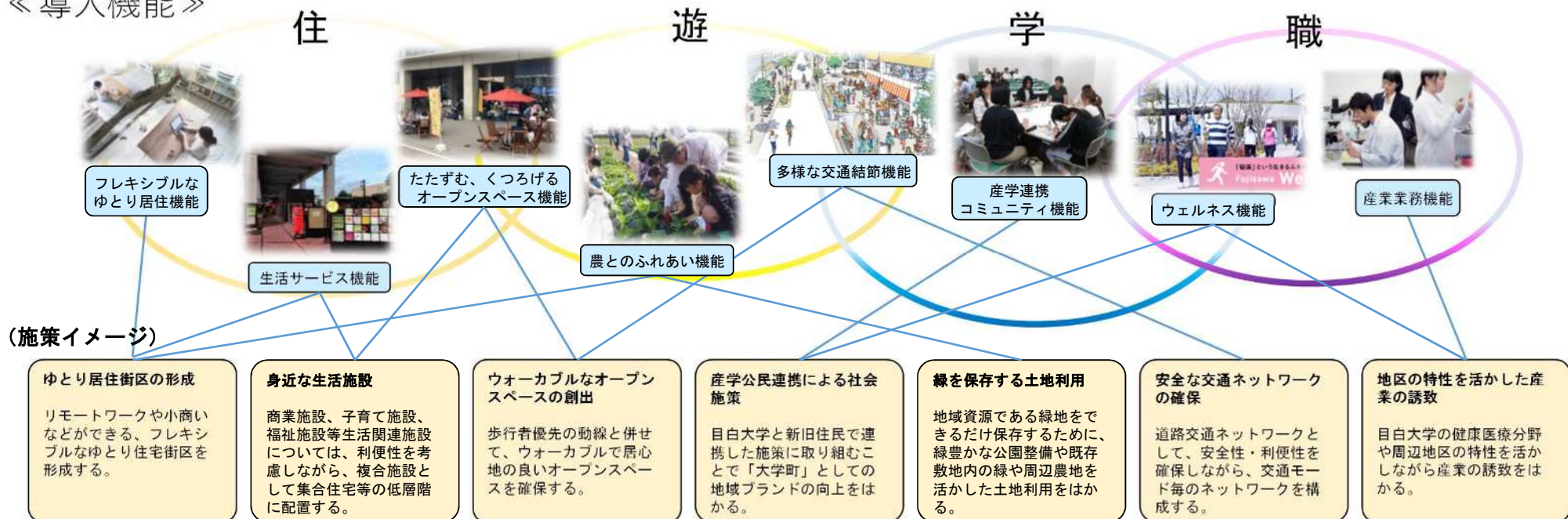
- ① SDGs・ゼロカーボン実現に向けた建築・情報・エネルギーシステムを導入します。
- ② 産学公民の連携による、地域と人の健康維持など社会施策に取り組みます。
- ③ 先端技術を活かした安全に暮らせるまちづくりを推進します。

#### テーマ4.

地域内外のつながりにより成長し続けるまち

- ① 各種機能を共有することにより、さいたま市全域への波及を目指します。
- ② 浦和美園、岩槻との連携と地域特性を活かした持続成長を目指します。
- ③ まちづくり方針の実現に向けた産学公民による地域マネジメントに取り組みます。

### 《導入機能》





## 2. 中間駅まちづくり方針について

### 《土地利用配置方針と基盤整備イメージ》



#### ゆとり居住街区の形成

リモートワークや小商いなどができる、フレキシブルなゆとり住宅街区を形成する。



#### 緑を保存する土地利用

地域資源である緑地をできるだけ保存するために、緑豊かな公園整備や既存敷地内の緑や周辺農地を活かした土地利用を促進する。



#### 身近な生活施設

商業施設、子育て施設、福祉施設等生活関連施設については、利便性を考慮しながら、複合施設として集合住宅等の低層階に配置する。



#### 産学公民連携による地域ブランドの向上

目白大学と新旧住民で連携した施策に取り組むことで「大学町」としての地域ブランドの向上をはかる。

至 岩槻

職  
産業エリア

住  
戸建  
エリア

ゆとり  
居住  
エリア

公園

集合  
住宅  
エリア

公園

調整池

住  
戸建  
エリア

ゆとり  
居住  
エリア

遊  
公園

住  
戸建  
エリア

ゆとり  
居住  
エリア

遊  
公園

住  
戸建  
エリア

ゆとり  
居住  
エリア

遊  
公園

職  
産業エリア

学  
目白大学

基盤整備範囲

中間駅

駅前  
広場

集約  
拠点

歩行者  
専用  
道路

至 浦和美園



#### ウォーカブルなオープンスペースの創出

歩行者優先の動線と併せて、ウォーカブルで居心地の良いオープンスペースを確保する。



#### 安全な交通ネットワークの確保

道路交通ネットワークとして、安全性・利便性を確保しながら、交通モード毎のネットワークを構成する。



#### 地区の特性を活かした産業の誘致

目白大学の健康医療分野や周辺地区の特性を活かしながら産業の誘致をはかる。

※ この図は、まちづくりを検討するために位置関係を仮定したものであり、計画として決定しているものではありません。

## 2. 中間駅まちづくり方針について

### 《交通ネットワーク》

当地区の道路交通ネットワークとしては、交通利便性を確保しながら、安全性や快適性を考慮し、交通モード毎のネットワークを整理します。

#### モビリティ拠点

交通結節点である駅付近に、地区周辺の移動を想定したシェアサイクルや超小型モビリティなどのシェアモビリティ拠点を設け、切れ目の無い移動手段を用意します。



#### 緑と歩行者ネットワーク

道路と公園が融合した歩行者専用空間により、中間駅と目白大学を結ぶ歩行者ネットワークを生み出します。また、点在する公園と道路の植樹帯により緑のネットワークを繋げます。



#### 地区外からの道路交通アクセス

地区外からの当地区への道路交通アクセスは、バス、タクシー、自家用車、自転車等により、既存県道から駅前広場に最短距離でアクセスすることで、地区内への通過交通はなるべく排除します。



#### 地区内の補助幹線道路

地区内の補助幹線道路によって、地区内の移動を円滑にし、歩行者・自転車も安全に通行できる構造とします。



※ この図は、まちづくりを検討するために位置関係を仮定したものであり、計画として決定しているものではありません。



## 2. 中間駅まちづくり方針について

《ウォーカブルな  
オープンスペースのイメージ》



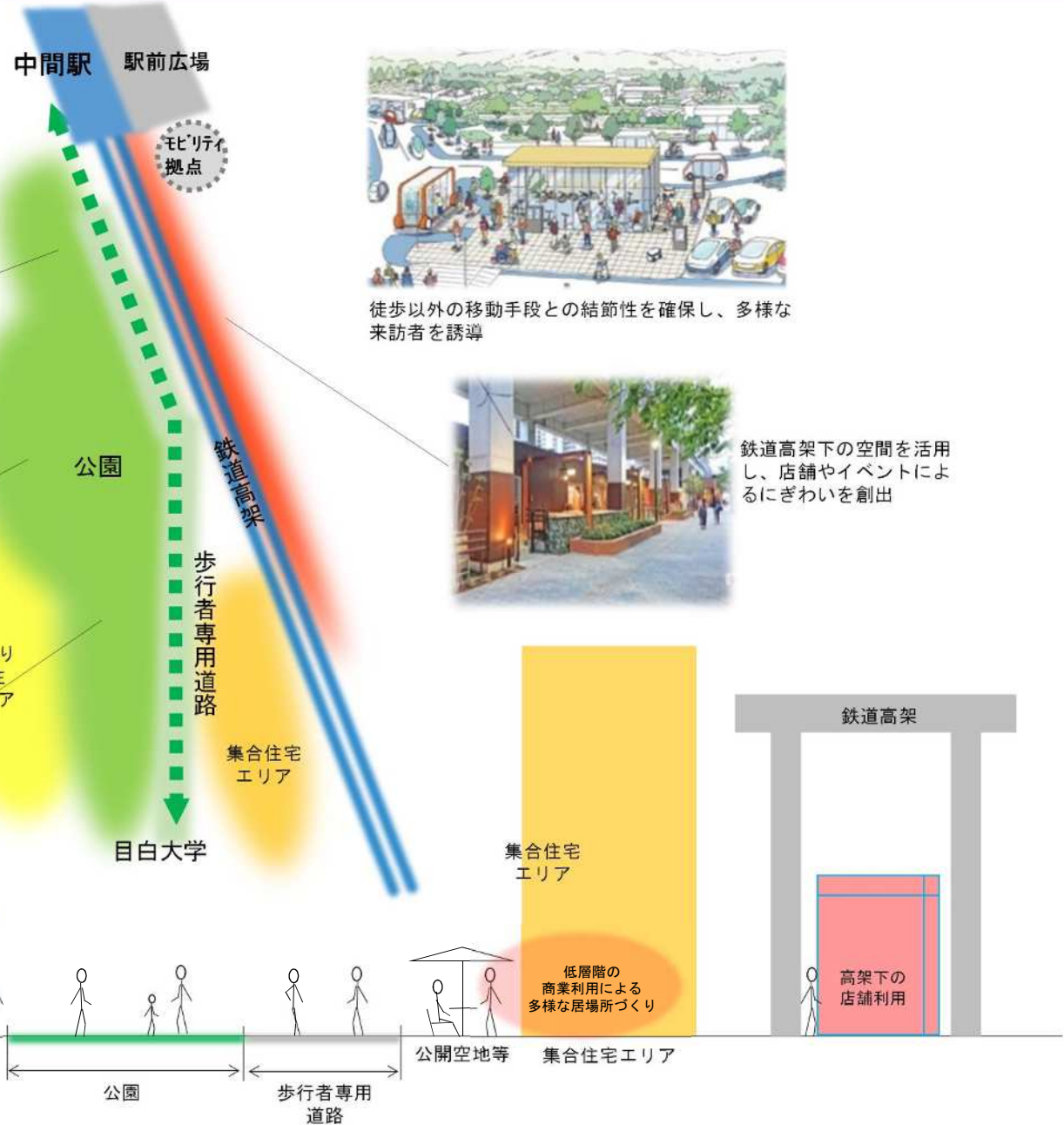
駅前広場の交通結節機能と広場機能を分割し、公園に連なる開放的なオープンスペースを創出



公園の開放的なスペースを活用した、歩いて楽しめる多様な仕掛けづくり



道路上で飲み、くつろげるサードプレイスを展開



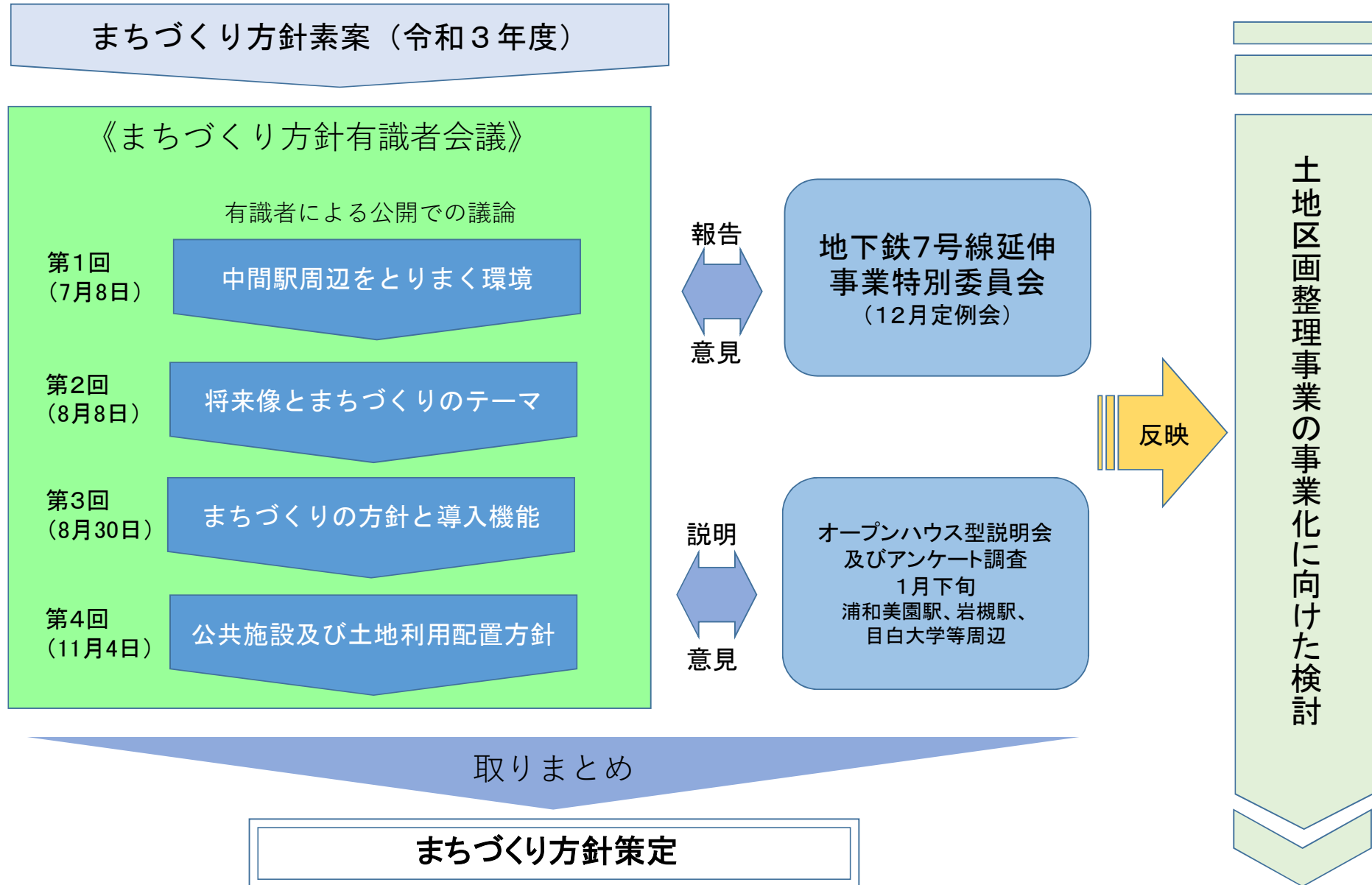
徒歩以外の移動手段との結節性を確保し、多様な来訪者を誘導



鉄道高架下の空間を活用し、店舗やイベントによるにぎわいを創出

## 2. 中間駅周辺地区まちづくり方針について

### 《中間駅まちづくり方針策定フロー》





## 2. 中間駅周辺地区まちづくり方針について

### 《オープンハウス型説明会及びアンケート調査》

地下鉄7号線(埼玉高速鉄道線)の延伸実現に向け、鉄道延伸計画案の概要や中間駅周辺のまちづくりの方針案について地域への説明を行い、幅広いご意見を集めます。

#### ◎開催概要

日程: 令和5年1月20日～28日

場所: 岩槻駅自由通路  
浦和美園駅自由通路  
岩槻南部公民館  
目白大学岩槻キャンパス

内容: ①地下鉄7号線延伸計画(案)の概要  
②中間駅まちづくり方針(案)

上記①②に関して、パネルやリーフレットで説明し、アンケート等でご意見を聞き取ります。

#### ※オープンハウス方式とは

開催時間中に、ご都合の良い時間に随時来場していただくことができます。来場者ごとに担当職員がパネル資料などで個別に説明し、アンケート様式や聞き取りでご意見を伺う方式になります。



【参考】道路網計画の見直しに関するオープンハウス

### 3. 浦和美園～岩槻地域成長・発展プランの改定について

平成24年度

平成30年度

令和5年度

#### 地下鉄7号線延伸の主な流れ

##### 地下鉄7号線検討委員会報告

「延伸実現に資する方策」を組み合わせることによって、評価を高め、将来的に延伸を実現する可能性がある。

##### 地下鉄7号線延伸協議会報告

検討ケースの2つが都市鉄道等利便増進法の目安に到達。  
延伸事業の可能性と課題の明確化。

##### 鉄道事業者へ事業要請

##### 中間駅まちづくり方針策定

#### 成長・発展プラン

##### 成長・発展プラン策定 43方策でスタート

プランに位置づけられた各種方策を展開し、地域の魅力を高め、定住・交流人口を増加させることで鉄道延伸実現につなげる。

目標年度：平成29年度

##### 成長・発展プラン改定

理念や目標等を明確化した基本計画と具体的に推進する方策の行動計画に区分し、持続可能なまちづくりを推進する新たな成長・発展プランに改定。

目標年度：令和4年度  
(行動計画)

##### 成長・発展プラン 行動計画改定

鉄道事業者への事業要請に伴う速達性向上計画素案(案)及び中間駅まちづくり方針策定による、より具体的な内容に改定。

目標年度：令和9年度予定  
(行動計画)

## 令和4年度 第2回浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 議事概要

1 日 時 令和4年11月25日（金）13：30～14：00

2 会 場 さいたま市役所 4階 政策会議室

3 出席者 座長）清水市長（副座長）日野副市長、高橋副市長、小川副市長  
委員）都市戦略本部長、財政局長、スポーツ文化局長、環境局長、  
経済局長、都市局長、建設局長、見沼区長、緑区長、岩槻区長

4 欠席者 なし

### 5 議事概要

#### （1）挨拶（座長）

- ・今年度、第2回目の推進会議となるが、現在、地下鉄7号線については、令和5年度に鉄道事業者に対する要請を行うことを表明しており、また中間駅周辺についても、地下鉄7号線と一体的な事業化に向け、調査・検討を進めているところである。
- ・本日は、鉄道延伸事業、中間駅まちづくり事業及び成長発展プランの改定について、進捗状況と今後の予定の報告とともに、中間駅まちづくりについては、有識者会議を経てとりまとめた「中間駅まちづくり方針案」について議論を頂きたい。
- ・委員の皆様には活発な発言をお願いするとともに、今後も引き続き、各事業について全庁的な推進に協力いただきたい。

#### （2）議事（1）～（3）に関する事務局説明

- （1）地下鉄7号線延伸事業のスケジュール及び取組状況について
- （2）中間駅まちづくり方針について
- （3）浦和美園～岩槻地域成長・発展プラン改定について  
を一括して説明。

#### （3）議事（1）～（3）に関する意見交換

- ・中間駅のまちづくり方針で土地利用配置方針が示されているが、規模は何ヘクタールくらいか。
- ・規模は、45～65ヘクタールで検討を進めているが、現況調査や鉄道需要と併せて今後調整を行っていく。都市計画としては、コンパクトシティを目指しているので、これらを踏まえて今後決定していきたい。
- ・スケジュールに関して令和5年まで示されているが、令和6年度以降に想定される都市計画や環境アセスの手続き、また、産業誘致、各種施設計画など、各局との調整はどのように進めていくのか。
- ・今後、都市鉄道等利便増進法の手続きや、鉄道及び中間駅の都市計画決定の手続きが必要となる。都市局とは、区域マスタープランに関する調整を進めており、その他施設計画などの事業調整は、庁内会議を設け調整を図っている。1日も早い都市計画決定を目指し各種調整を進めていく。

#### (7) 座長より会議の総括

- 地下鉄7号線延伸については、来年度の鉄道事業者への事業実施要請に向け、速達性向上事業に関する計画素案の作成や費用負担に関する関係機関協議を着実に進めるようにお願いします。
- 中間駅のまちづくりについては、本日説明のあった『まちづくり方針案』を基に年度内に策定するとともに、今後事業化に向けた各種調査・検討や都市計画に関わる協議を着実に進めるようにお願いします。
- 地下鉄7号線延伸を実現するためには、所管を超えた全庁的な取組みが必要になるので、関係する所管においては、より積極的な取り組みをお願いします。
- 市民に対しては、1月の説明会をはじめとして、ご理解ご協力を頂けるよう、丁寧な説明をお願いします。

【事務局】都市戦略本部 未来都市推進部